

# 社会時事ニュース

## 投票率にも注目しよう

### 第27回参議院議員選挙が行われる



2025年7月20日に、第27回参議院議員選挙が行われました。選挙の結果、与党（内閣を組織している政党）の議席が過半数（全体の半分よりも多い数）を下回り、衆議院と参議院の両方で与党が少数派となりました。

▲候補者ポスター（大阪府）

▲投票がしめきられると、各地の投票所から集められた投票箱から投票用紙が取り出され、一斉に集計が行われます。

#### 参議院の選挙のしくみ

選挙区	比例代表
<p>個人名で立候補</p> <p>A党 B党 C党</p>	<p>各政党が、候補者の名簿をつくる</p> <p>A党 B党 C党</p> <p>1位 2位 3位 1位 2位 3位 1位 2位 3位</p>
<p>候補者名で投票</p>	<p>政党名もしくは候補者の個人名で投票</p>
<p>1つの選挙区ごとに決められた人数（定数）の範囲内で、得票数が多かった順番に選ばれる</p> <p>300 250 150</p> <p>有効投票数700</p>	<p>各党の得票数に応じて議席を割り当てる。各党の中で、個人の名簿が得票数が多かった順に当選していく*</p> <p>A党 得票数500 B党 得票数300 C党 得票数100</p> <p>A党 B党 C党</p> <p>1位 2位 3位 1位 2位 3位 1位 2位 3位</p> <p>（定数3の場合）</p>

\*比例代表では、個人としての得票数にかかわらず、政党が優先的に当選させたい人を決める「特定枠」を設けることもできます。

参議院では、全国45の選挙区から、人口に応じて一度の選挙で1～6名の議員を選出する「選挙区」と、全国を1つの選挙区として、政党の得票数と、個人の名簿に応じて議席を配分する「比例代表」のしくみを採用しています（2025年現在）。

- ① 第27回参議院議員選挙が行われる
- ② 「令和の米騒動」 これまでをふりかえろう



#### ！調べよう

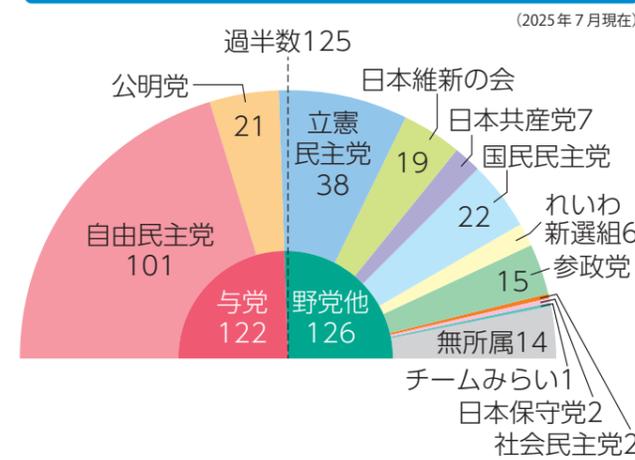
- ・参議院の選挙のしくみについて知ろう
- ・参議院の役割について知ろう



▲候補者ポスター（大阪府）

▲投票がしめきられると、各地の投票所から集められた投票箱から投票用紙が取り出され、一斉に集計が行われます。

#### 選挙後の政党別議員数のうちわけ



#### 参議院の特徴

解散がなく任期が長いので、議員が特定の課題にじっくり取り組むことができる

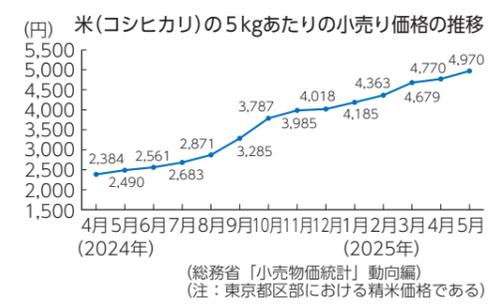
衆議院解散中に、緊急集会を開くことができる

3年ごとに半数ずつ改選するしくみのため、民意がゆるやかに反映される

## お米が買えない？

### 「令和の米騒動」これまでをふりかえろう

2024年の夏ごろから、米が品薄になったり、急激に値段が上がったりするなど、「令和の米騒動」とよばれる異変が起っています。これまでの流れをふりかえってみましょう。



#### 2024年8月

- スーパーマーケットなどで米が品不足になり始める
- 米の入荷が不足したため、スーパーの中にはパックご飯などの品ぞろえを増やしたり、購入する数を制限したりするところもありました。

#### ? 考えよう

米不足は、どんなときに起っているだろう。

米が品薄になったスーパーマーケット（千葉県）



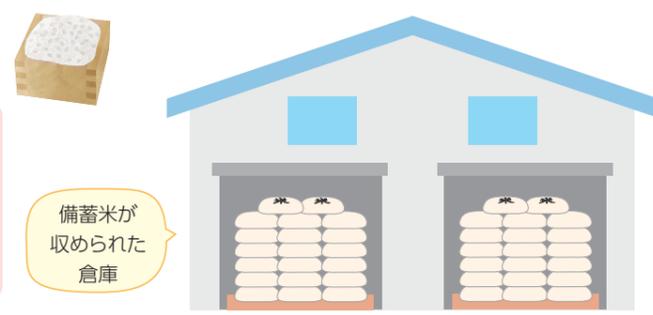
(写真は2025年4月のもの)

#### 2025年2月

- 政府が備蓄米の放出を発表する
- 入札（一番高い値段を出した会社や人に、品物を売る）というしくみで、備蓄米が政府からJAに売り渡されました。ところが、流通に時間がかかることが課題でした。

#### 言葉に注目

**備蓄米**：災害や米の不作のとき、日本人の主食の米が足りなくなるように、一定の量を保管している米のこと。



備蓄米が収められた倉庫

#### 2025年5月

- 政府が備蓄米を随意契約で放出開始
- 随意契約とは、国や自治体が、契約相手を直接選んで物やサービスの売り買いをすることです。入札と比べ短い時間で契約ができることから、取引を急ぐ際などに使われることがあります。

#### ? 考えよう

現在の米の値段を調べてみよう。

スーパーマーケットに並ぶ備蓄米（千葉県）



(2025年7月)

#### 過去の米騒動



1918年

米の値段が1ヶ月で2倍程度上がったことから、全国で米屋などをおそう騒動が起きました。当時の寺内正毅内閣は、騒動の責任を取って総辞職しました。



1993年

記録的な冷夏が原因で、米が例年の4分の3程度しかとれず、緊急でタイやアメリカ、中国から米を輸入しました。